



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ
コード番号 9791 URL <https://www.bikentechno.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神月 義行

TEL 06-6380-2141

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,170	2.6	1,029	18.4	1,139	22.3	716	23.9
2023年3月期第2四半期	17,620	8.2	1,262	53.2	1,466	46.5	940	36.8

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 700百万円 (19.5%) 2023年3月期第2四半期 869百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	94.93	
2023年3月期第2四半期	124.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	40,207	20,266	50.4	2,686.56
2023年3月期	39,240	19,672	50.1	2,607.72

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 20,266百万円 2023年3月期 19,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		14.00	24.00
2024年3月期		14.00			
2024年3月期(予想)				14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	5.2	2,350	19.4	2,600	4.5	1,700	1.8	225.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	7,718,722 株	2023年3月期	7,718,722 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	174,966 株	2023年3月期	174,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,543,756 株	2023年3月期2Q	7,543,756 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 211「当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く環境は、アフターコロナによる経済活動が定着しつつあり、業績の回復が見られてきています。しかし、人材採用難、人件費上昇、物価上昇による原価・経費負担増等による収益環境への影響も強まってきています。

このような状況下、当社グループにおいては、コロナ禍の中で大きな影響を受けていたホテル事業で急速な回復を見せ、フランチャイズ事業でも段階的に回復が進みましたが、不動産事業では不動産売却が成立したものの前期の実績には及ばなかったことや、人件費上昇等の影響もあり、前年同期と比較して売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,170百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益は1,139百万円（前年同期比22.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は716百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、アフターコロナによる経済活動が定着しつつあり、新たな商業施設や物流施設のメンテナンス業務等の受注が増加しました。一方、事務所移転・集約に伴う原状回復工事等の受注増やコロナ禍における特需等が減少したことや、人件費上昇の影響もあり、前年同期と比較して売上高は微増いたしました。セグメント利益は減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,265百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は1,632百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第2四半期連結累計期間においても不動産売却が成立しましたが、前年同期の実績には及ばず、売上高、セグメント利益が減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,257百万円（前年同期比42.1%減）、セグメント利益は303百万円（前年同期比51.1%減）となりました。

③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。各施設とも引き続き、感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていることから稼働率回復に時間を要しておりますが、段階的に回復しつつあり、前年同期と比較して売上高が増加し、セグメント損失が抑えられました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は449百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント損失は31百万円（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。

④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、ツタヤ、銀座に志かわ等の店舗展開を行っております。人の動きも戻ってきている中で、業績は段階的に回復しつつあり、前年同期と比較してセグメント売上が増加し、黒字化することができました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は533百万円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期は32百万円のセグメント損失）となりました。

⑤ ホテル事業

ホテル事業では、東京と沖縄で合計3棟のホテルを運営しております。コロナ禍の中で大きな影響を受けていたホテル事業は、アフターコロナの浸透により人々の移動が活性化し、前連結会計年度の終盤から急速に業績が回復してきており、前年同期と比較して売上高およびセグメント利益が大幅に増加しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は489百万円（前年同期比187.3%増）、セグメント利益は121百万円（前年同期は93百万円のセグメント損失）となりました。

⑥ その他事業

その他事業では、フードコート運営事業、太陽光発電事業、当社の営業活動のネットワークを生かした関連商品の販売事業等を行っております。連結子会社で製造販売している除菌水売上のコロナ特需はなくなりましたが、フードコート運営事業において客足の回復がみられ、前年同期と比較して売上高が増加し、セグメント損失が抑えられました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は174百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期は14百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の「2023年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,823,257	8,037,881
受取手形、売掛金及び契約資産	3,983,380	3,765,967
商品及び製品	63,801	101,754
販売用不動産	5,205,021	4,660,878
未成工事支出金	18,052	13,916
原材料及び貯蔵品	39,093	46,806
その他	1,220,547	819,153
貸倒引当金	△74,146	△77,409
流動資産合計	18,279,009	17,368,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,122,040	5,685,643
土地	9,765,256	11,115,724
建設仮勘定	24,074	—
その他（純額）	550,459	578,323
有形固定資産合計	15,461,830	17,379,691
無形固定資産		
のれん	727,288	675,671
その他	185,883	232,200
無形固定資産合計	913,171	907,871
投資その他の資産		
その他	4,829,027	4,802,212
貸倒引当金	△243,000	△251,000
投資その他の資産合計	4,586,027	4,551,212
固定資産合計	20,961,029	22,838,776
資産合計	39,240,039	40,207,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,181,309	2,003,740
短期借入金	1,800,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	2,963,758	3,176,466
未払法人税等	505,748	475,967
賞与引当金	362,569	367,442
その他	3,069,044	3,057,712
流動負債合計	10,882,430	9,441,328
固定負債		
長期借入金	6,981,610	8,826,884
役員退職慰労引当金	235,610	238,189
退職給付に係る負債	443,074	454,074
資産除去債務	111,065	101,371
その他	914,229	879,095
固定負債合計	8,685,590	10,499,615
負債合計	19,568,021	19,940,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,672,968	1,672,968
利益剰余金	16,326,224	16,936,674
自己株式	△78,566	△78,566
株主資本合計	19,729,427	20,339,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,408	207,290
為替換算調整勘定	△190,119	△270,462
退職給付に係る調整累計額	△10,698	△9,923
その他の包括利益累計額合計	△57,409	△73,095
非支配株主持分	—	—
純資産合計	19,672,018	20,266,782
負債純資産合計	39,240,039	40,207,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,620,646	17,170,670
売上原価	13,691,602	13,367,221
売上総利益	3,929,043	3,803,449
販売費及び一般管理費	2,667,014	2,773,526
営業利益	1,262,029	1,029,923
営業外収益		
受取利息	18,762	14,758
受取配当金	16,486	26,975
受取賃貸料	16,324	16,414
助成金収入	45,061	18,399
受取補償金	524	—
為替差益	104,535	94,530
その他	51,286	37,177
営業外収益合計	252,980	208,255
営業外費用		
支払利息	33,797	33,487
支払手数料	13,626	42,811
貸倒引当金繰入額	1,000	8,392
その他	371	13,797
営業外費用合計	48,795	98,489
経常利益	1,466,214	1,139,689
特別利益		
固定資産売却益	3,691	5,694
投資有価証券売却益	—	895
特別利益合計	3,691	6,589
特別損失		
固定資産売却損	3,701	—
固定資産除却損	4,769	5,053
減損損失	—	11,564
その他	—	4,100
特別損失合計	8,471	20,717
税金等調整前四半期純利益	1,461,434	1,125,562
法人税、住民税及び事業税	503,254	403,588
法人税等調整額	17,718	5,881
法人税等合計	520,972	409,470
四半期純利益	940,462	716,092
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	940,462	716,092

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	940,462	716,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,054	63,882
為替換算調整勘定	△69,957	△80,342
退職給付に係る調整額	△11,568	774
その他の包括利益合計	△70,471	△15,686
四半期包括利益	869,990	700,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	869,990	700,405
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。